

国際シンポジウム

「現代中国社会の歴史淵源」

科学研究費補助金研究「『巴県档案』を中心として見た清代中国社会と訴訟・裁判—中国社会像の再検討」と京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センターとの共催、京都大学アジア研究教育ユニットの後援で、下記のような国際シンポジウムを開きますので、ご案内申し上げます。

日時：2014年2月22日（土）13時から18時30分
19時から20時30分までレセプション

2014年2月23日（日）10時から1時

場所：両日ともに京都大学百周年時計台記念館会議室Ⅲ（二階西）

2月22日（土）

13：00 開会あいさつ

13：10～14：20 北京大学社会学系教授 周飛舟氏
「“農民上楼（農民のアパート集住）”と“資本下乡（農村への資本投下）”：
都市化過程における政府、企業と農民」

14：20～15：30 京都大学名誉教授 夫馬進氏
「現代中国における人民調解（調停）制度と““訴調对接（訴訟・調停の連結）”」

15：30～15：40 休憩

15：40～16：50 中国政法大学社会学院教授 応星氏
「現代中国の上訪（直訴）：訴訟と民衆抗争のロジック」

16：50～18：00 京都大学法学研究科教授 寺田浩明氏
「現代中国“維権（権利擁護）”運動の法制的考察」

18：00～18：30 総合討論

19：00～20：30 レセプション

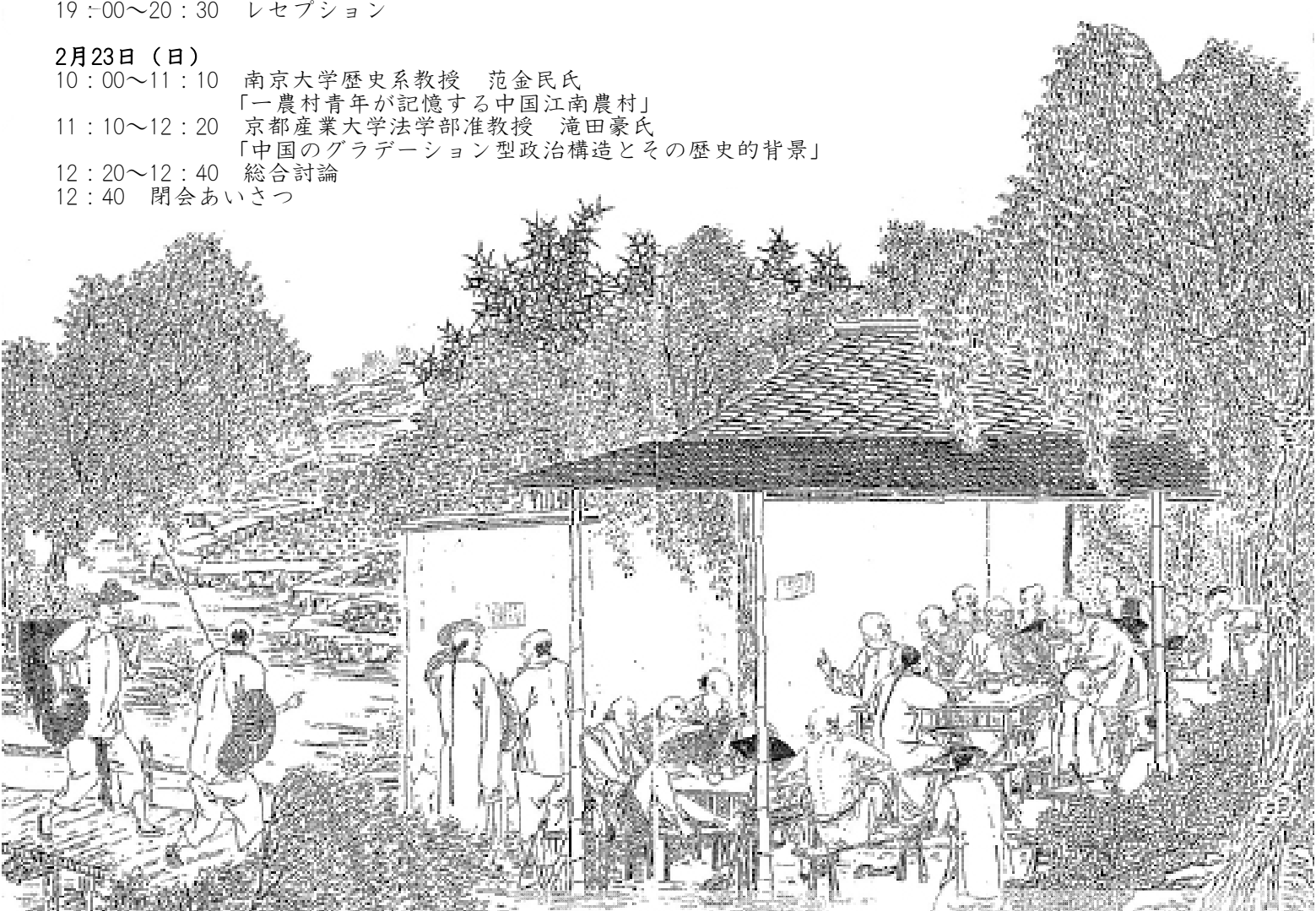
2月23日（日）

10：00～11：10 南京大学歴史系教授 范金民氏

「一農村青年が記憶する中国江南農村」
京都産業大学法学部准教授 滝田豪氏
「中国のグラデーション型政治構造とその歴史的背景」

12：20～12：40 総合討論

12：40 閉会あいさつ



右端中央に傲然と座るのは清末の「訟棍」=ごろつき弁護士（『点石齋画報』）

なお、中国3先生の報告と討論には通訳がつきます。また席に限りがあり、ご不便をおかけする場合はおゆるしく下さい。お問い合わせはアジア研究教育ユニット支援室 (asean6.office@bun.kyoto-u.ac.jp) まで。